

第1学年C組 社会科学習指導案

授業者 高橋 佑樹

1 単元名 世界と日本の地域構成 ～世界の人に日本の姿をどのように伝えられるのだろうか～

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）2内容 A（1）に以下のように位置付けられるものである。

A 世界と日本の地域構成

(1) 地域構成

次の①と②の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

①世界の地域構成 ②日本の地域構成

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解すること。

(イ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。

本単元においては、地理的分野学習の導入として、小学校の学習成果を踏まえ、世界と日本の地域構成を主な学習対象とし、世界と日本の地域構成を大観し理解する学習を通して、地域の諸事情や地域的特色を理解する際の座標軸を養うことをねらいとしている。グローバル化が進み、世界各地の出来事が自らの生活に大きく影響を与えるようになってきた現代だからこそ、世界を大観し、世界から日本がどのようにみえているのか、地域構成を正しく理解することが求められる。また、地理的分野の導入部分として、世界や日本の地理的認識を深める際の座標軸のような役割を果たしたり、地理学習への関心を高めたり、世界との結びつきをより身近に感じさせたりすることを図ったりするのに効果的な教材と考えている。

(2) 指導観

本単元「世界と日本の地域構成」については、従前の「世界の様々な地域」、「日本の様々な地域」の二つの中項目からなる内容構成を見直し、両中項目の始めに置かれた「世界の地域構成」、「日本の地域構成」を統合して、新たな中項目として設けられている。世界及び日本の地域構成に関する学習を関連付け、世界と日本の地理的認識の座標軸を形成することを意図したものである。また、地図の読図や、世界地図や日本地図を作成したりなどの地理的技術の基本を身に付けることによって、地理学習の楽しさや有用性を確認することができ、その後の「世界の様々な地域」、「日本の様々な地域」の学習を円滑に展開し、地理的技術の育成の一層の充実を達成するよう意図したものである。しかし中学1年生のうちに、他国との交流を積極的に行い、世界と日本のつながりをイメージし、地理学習の有用性を感じることは困難である。そこで本単元では、生徒一人一人に配布されたタブレット端末を用いて、実際に日本の姿を他国で暮らす人々に伝える活動を通して、生徒が世界と日本とのつながりをより身近に感じながら、世界と日本を大観す

るだけでなく、今後の地理学習における有用性を感じさせることをねらいとしている。また、「日本の姿」を世界に発信する活動を通して、世界や日本の地理的認識をより一層深め、世界中で起きている様々な諸課題についても視野に入れ、主体的に関われるようになると考えている。

(3) 研究の手立てについて

授業の設計についてと思考の変容が読み取れる「社会科学びの地図」の活用については教科論を参考にされたい。

【手立て1】 挑戦心を引き出す学習指導の工夫について・本校社会科では生徒の挑戦心を「現代社会の課題を解決し、よりよい社会をつくるために取り組んでいる主体的な姿」と捉えた。それを引き出すために、単元を通して生徒自ら問い続け課題解決に取り組めるような学習指導の工夫を行った。それらは、単元の指導計画や本時の展開において示す。

【手立て2】 個別最適な学びの工夫・本校社会科では授業の設計と生徒の思考の変容を自身が認識するためなどを目的に「社会科学びの地図」という振り返りのワークシートを活用している。「学びの地図」を形成的評価につなげることで、生徒が学習を自己調整したり、学習課題を追究する際、各々の学習目標の設定の手助けとしている。詳細は教科論を参考にされたい。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- ・緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し，我が国の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解する。
- ・世界や日本の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位置，緯度や経度，我が国の周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現する。
- ・世界と日本の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとする。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し，我が国の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解している。	・世界の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位置，緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の地域構成の特色を，周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。	・世界と日本の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

(3) 単元の指導計画（10時間扱い）

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

次	ねらい・学習活動等 ★「挑戦心」を引き出す学習指導の工夫	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
単元の導入 1時間	【ねらい】単元を見通すテーマ「日本の姿を他国に住む人にどのように伝えられればよいのだろう。」について，位置や分布などに関わる視点に着目して，地域構成の特色を多面的・多角的に考察し，表現する力を育成する。世界と日本の地域構成を大観し理解できるようにする。				
	【単元を貫く学習問題】「世界の人に日本の姿をどのように伝えられるのだろう。」				
	・生徒たちが思う「世界の人に日本の姿を説明する方法」を挙げ，伝えだけでなく，現在持っている日本の特色のイメージを確認し合う。 ★学習問題を設定し，予想や仮説を立て，今後の学習の見通しをもつ。			●	●単元を貫く学習課題について，初発の考えをもち，これまでの学びから解決に役立ちそうな情報を挙げ，解決の見通しを立てている。 (学びの地図，ワークシート)

第一次 4時間	<p>【第一次のねらい】「世界はどのように構成されているのだろうか」という課題を追究することを通して、世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して考察、表現し、世界の地域構成を大観する。</p>				
	<p>【第一次の課題①】「世界はどのように構成されているのだろうか。」</p>				
	<p>・「様々なツールを用いてわかりやすく伝える」 「位置関係を明らかにして伝える」「その国の大まかな特色についても理解しておく」のような初発の考えの予想から取り組む。</p>	●		●	<p>●緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。</p> <p>●世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。(学びの地図、ワークシート)</p>
	<p>【第一次の課題②】「他国に住む人に日本の姿を報告してみよう。」</p>				
	<p>・「世界はどのように構成されているのだろうか。」の活動を通して、ICTを用いて、グループごとに報告をまとめる。</p> <p>・班ごとにタンザニア、チリ、ドイツのどの国の人に報告をするか決め、それぞれ「日本の姿」について中間報告を行い、撮影した動画を各国に送り、フィードバックをもらう。</p> <p>★他者の意見から、多面的・多角的に考察・判断するための情報を得て、自分の課題解決に生かしている。</p>	● 技	●	<p>●資料をまとめる技能を身に付けている。</p> <p>●世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して仕組みや性質などの考察をして、表現している。(学びの地図、ワークシート)</p>	
第二次 4時間 (本時)	<p>【第二次のねらい】「日本はどのように構成されているのだろうか」という課題を追究することを通して、日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察、表現し領域の範囲や日本の国土の位置を大観する。</p>				
	<p>【第二次の課題①】「世界と比べて、日本はどのように構成されているのだろうか。」</p>				
	<p>・中間報告から、日本の構成についてより具体的に報告する必要性に気づかせる。</p> <p>・他国に住む人に日本の構成を説明する手立てに着目した問いを追究する活動に取り組む。</p> <p>★「日本と他国にはどのような差があるのか」という活動の中で、実際にチリに住む方とビデオチャットを行い、世界との繋がりを感じさせる。</p>	●	●	<p>●我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。</p> <p>●日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。(学びの地図)</p>	
	<p>【第二次の課題②】「他国に住む人に日本の姿を報告してみよう。」</p>				
	<p>・「世界と比べて日本はどのように構成されているのだろうか」の活動を踏まえて、チリ、タンザニア、ドイツに住む人たちとビデオチャットで質問をし、GISを用いたりして、グループごとに報告をまとめる。</p> <p>・どうすればよりわかりやすく伝わるかを考察することで、この後の地理学習へとつながる座標軸の役割を果たす。</p>	●	●	<p>●我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。</p> <p>●日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。(学びの地図、発表)</p>	

単元 の ま と め	【「単元のまとめ」のねらい】単元を見通すテーマ「日本の姿を他国に住む人にどのように伝えられるだろう」について、位置や分布などに関わる視点に着目して、地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。世界と日本の地域構成を大観し理解できるようにする。		
	【単元を貫く学習問題】「世界の人に日本の姿をどのように伝えられるのだろう。」		
1 時 間	<ul style="list-style-type: none"> 本単元で学んだことを生かして、「世界の人に日本の姿をどのように伝えられるのだろう」について、学びの地図に学習問題の解を書く。 ★学習を振り返り、思考の再構築を行う。また気候や地形、世界の諸地域などを学習する有用性を見出したり発見したりする。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成の特色を大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して、日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ○世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(学びの地図, 定期テスト)

4 本時の学習 (9/10 時間目)

(1) ねらい

- 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解しようとしている。
- 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。

(2) 展開

過程	学習活動・学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 指導上の留意点 ★「挑戦心」を引き出す学習指導の工夫 ◎問いの工夫 	観点 具体の評価規準
導入 (5) 課題 提示	1 前時までで追究した内容を復習し、本時の課題を確認する。	◎前時までの内容を振り返り、単元を貫く学習問題の解決の見通しをもたせ、導入時での学びの必要感をもう一度思い起こさせる。	
課題 把握 (5) 課題 追究 ① (15) 課題 追究 ② (15)	<p>2 前時までに準備した発表内容を確認する。</p> <p>3 GISを活用した資料等を用いて、他国との違いに着目しながら発表内容をまとめる。</p> <p>4 チリ、タンザニア、ドイツの三つのグループに分かれ、グループごとにビデオチャットサービスを用いて、フィードバックをもらい、質問を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告との変化を感じさせ、「もっとわかりやすくするためには？」など声かけを行い、生徒の挑戦心を奮い立たせる。 ★実際に他国に住む人に日本の地域構成の伝え方について助言をいただき、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 発表する際は、世界や日本の地域構成に基づいて発表し、前時までの「日本と他国にはどのような差があるのか」という視点から、他国と日本の違いについて意識させる。 	<p>課題 どうすれば他国に住む人に日本の姿がより伝わるのだろう。</p> <p>知 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解しようとしている。</p> <p>(例) 時差、北半球か南半球か、地球の反対側、同緯度同経度、日本の位置をどのようにみているかなどの位置関係についてや、国の形について、人口や面積の違い、地域構成の違い、土地や気候の違いなど、日本とその国を比較し、発表をまとめている。</p>
(5) 整理 (5)	<p>4 グループで発表の練習を行い、感想を述べさせる。</p> <p>5 プリントに「学びの地図」につながる本時の学習の振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どのようにすればもっと良い発表になるかを振り返りさせ、今後の地理学習への必要感を感じさせる。 単元を貫く学習問題について「学びの地図」に記入させる。 	<p>思 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p>